



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月8日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 川澤 琢也 E-mail sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）※オンライン開催

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	23,831	△9.4	6,064	7.6	6,351	8.1	3,971	△9.6
2025年3月期	26,293	17.3	5,638	33.2	5,876	35.5	4,394	36.0

（注）包括利益 2026年3月期 3,766百万円（△10.3％） 2025年3月期 4,197百万円（33.6％）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	47.67	—	27.8	34.5	25.4
2025年3月期	51.93	—	32.0	30.9	21.4

（注）1. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 2025年3月期及び2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	17,069	14,262	83.6	174.83
2025年3月期	19,740	14,272	72.3	170.50

（参考）自己資本 2026年3月期 14,262百万円 2025年3月期 14,272百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,304	△707	△4,403	5,140
2025年3月期	5,390	△1,542	△4,073	6,945

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00	1,788	40.4	12.9
2026年3月期)	—	0.00	—	26.00	26.00	2,146	54.5	15.1
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	26.00	26.00		47.6	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,300	6.2	6,600	8.8	6,700	5.5	4,460	12.3	54.67

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社(社名) -、除外 1社(社名) 株式会社シグマクス・インベストメント

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	86,000,000株	2025年3月期	89,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	4,421,347株	2025年3月期	5,294,012株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	83,321,464株	2025年3月期	84,625,018株

(注) 1. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式を含めております。

2. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,842	17.1	5,265	36.0	5,536	33.0	4,455	41.7
2025年3月期	7,554	44.5	3,871	122.6	4,161	128.3	3,144	84.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	53.47	-
2025年3月期	37.16	-

(注) 1. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 2025年3月期及び2026年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,741	11,209	88.0	137.40
2025年3月期	12,816	10,772	84.1	128.69

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,209百万円 2025年3月期 10,772百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(連結の範囲の重要な変更)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報の注記)	14
(追加情報)	14
(重要な後発事象の注記)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

わが国の経済は緩やかに回復していますが、先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響や米国の通商政策をめぐる動向などに注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出に取り組んでおります。

コンサルティングサービスにおいては、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーション（3つの変革）を掲げ、お客様の戦略策定から実行、成果の実現に至るまで常に伴走する「戦略実現のシェルパ」として、多様な能力を擁したプロフェッショナルが企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創を推進しています。

2025年4月に株式会社シグマクス連結子会社の株式会社SXFの全株式を譲渡し、第1四半期連結会計期間より当社の連結対象から除外いたしました。

同5月に投資事業を停止し、7月に株式会社シグマクス・インベストメントを当社に吸収合併しました。これに伴い、同社の保有資産は当社に承継されております。投資事業の停止に伴い、当社グループの報告セグメントを、第1四半期連結会計期間より「コンサルティング事業」の単一セグメントに変更しております。

同10月に株式会社シグマクス・ホールディングス連結子会社の株式会社SXDの全株式を譲渡し、第3四半期連結会計期間より当社の連結対象から除外いたしました。

当社グループの当連結会計年度の売上高は、23,831,005千円（前連結会計年度比9.4%減）となりました。基幹システムSaaS化などの大型案件が第2四半期までに順次サービスインを迎え、第3四半期および第4四半期は外注が大幅に減少しました。社内人財の稼働率は、大型案件のサービスインに伴い第3四半期は低下しましたが、提案活動の強化により第4四半期は目標水準まで回復しております。

当連結会計年度、運輸、金融、情報通信、小売、商社、建設を中心とした170社超の顧客に対しプロジェクトを推進し、価値共創を進めてまいりました。日本郵船株式会社様のSAP S/4HANA® Cloud Public Editionの国内最大規模の導入支援を2025年7月に完遂しました。本導入支援は2026年3月、SAPジャパンが優れた成果を挙げたパートナー企業を選出するプログラムの最優秀賞である「プロジェクト・オブ・ザ・イヤー」に選出されました。2025年11月には、AIを活用したコンタクトセンター業務の生産性および品質向上に向けて、ソフトバンク株式会社様の100%子会社であるGen-AX株式会社様との協業を開始しており、新規案件創出および売上拡大に寄与しています。金融業界においては、三井住友信託銀行株式会社様向けに海外決済システムの国際標準（ISO20022）対応および大規模システム刷新のご支援を完遂しました。さらに、ヤマハ発動機株式会社様の子会社の吸収合併プロジェクトや、株式会社商船三井様・商船三井ドライバルク株式会社様の海外拠点への業務移管を目的としたプロセス標準化・可視化プロジェクトにおいては、PMOとしての高い専門性を発揮し変革を推進しました。

売上原価は主に外注費が前年同期比約40%減少したことにより12,047,655千円（前連結会計年度比17.3%減）となり、売上総利益は51,595千円増の11,783,350千円（前連結会計年度比0.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は5,718,435千円（前連結会計年度比6.1%減）となりました。その結果、営業利益は425,996千円増の6,064,914千円（前連結会計年度比7.6%増）と過去最高となりました。

営業外収益については、主に、保有する投資有価証券にかかる受取配当金110,671千円及び投資有価証券売却益118,064千円を計上いたしました。その結果、経常利益についても474,538千円増の6,351,441千円（前連結会計年度比8.1%増）と過去最高となりました。売上高経常利益率は前年同期比4.3ポイント増の26.7%となりました。

株式会社SXF及び株式会社SXDの全株式譲渡に伴い、79,457千円の特別利益（関係会社株式売却益）を計上いたしました。また、株式会社シグマクス・インベストメントから承継した投資有価証券の再評価と売却を進めており、665,118千円の特別損失を計上いたしました。その結果、税金等調整前当期純利益は5,773,864千円（前連結会計年度比0.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、3,971,882千円（前連結会計年度比9.6%減）となりました。なお、親会社株主に係る包括利益は3,766,816千円（前連結会計年度比10.3%減）となりました。

人財採用につきましては、当連結会計年度において経験者47名、新卒81名が入社しました。新卒社員の研修は順調に完了し、稼働を開始しています。2026年3月末時点のコンサルタント数は692名となっております。

プロジェクト満足度は97ポイントと高い水準を維持しております。

②今後の見通し

2027年3月期においては、クライアント企業の深耕力をさらに強化するとともに、当社事業モデルの進化と社内人財の能力と生産性の向上に取り組み、価値共創プロセスを着実に実行し進化させてまいります。当社事業モデルの進化においては、顧客ポートフォリオの再編、オフリング開発への投資、人月・工数に依拠しない成功報酬型提案の推進、資本提携等の戦略的パートナーシップ強化のための取り組みを進めてまいります。加えて、生成AIなどの先端テクノロジーが台頭する環境の中、社内人財をより高付加価値な活動に集中すべく、AI活用と投資を進めます。また社内のAI活用と知識共有をコンサルタント自身が全社横断で推進するチームを組成し、変化適応能力の進化、生産性と提供価値の向上を図ります。

また、さらなる事業成長のために必要なコンサルタント能力（スキル×人数）の拡充を継続します。2026年4月には新卒79名が入社し、4月1日時点のコンサルタント数は757名となりました。経験者は、第1四半期以降に10名超の入社が既に確定しており、2027年3月期も質を重視した採用を継続していきます。2027年4月の新卒入社については80名程度を目標として採用活動に取り組んでおります。

以上より、2027年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高25,300,000千円（前連結会計年度比6.2%増）、営業利益6,600,000千円（同8.8%増）、経常利益6,700,000千円（同5.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,460,000千円（同12.3%増）を予想しております。

当社は、2026年4月13日開催の当社取締役会において、株式会社コアコンセプト・テクノロジー（以下「CCT社」）とのデジタル・トランスフォーメーションをはじめとした幅広い分野での協業を含めた資本業務提携の検討を開始することを決議いたしました。現在、当社は市場買付けの方法によりCCT社の株式取得を進めており、2026年4月27日時点で持株比率（発行済株式総数に対する保有割合）10.64%（株式数1,874,000株）となっております。これまで当社とCCT社は、ソリューション共同開発、ターゲット産業・顧客セグメント、販売チャネル等に関して具体的な検討を進めるなど、共同営業・提案等の活動を推進しており、当社としては、現在の友好的な関係を維持し発展させながら、2027年3月末までにCCT社が当社の持分法適用となる水準まで議決権比率を引き上げたい意向です。ただし、取得方法などの詳細は現時点では未定です。

本件が当社の業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、2027年3月期連結業績見通しには含まれておりません。今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は8,429,295千円(前連結会計年度比5,644,681千円減)となりました。主な内訳は、現金及び預金5,140,119千円、受取手形、売掛金及び契約資産2,636,087千円であります。また、固定資産は8,640,133千円(前連結会計年度比2,973,280千円増)となりました。主な内訳は、投資有価証券5,974,134千円であります。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は2,384,352千円(前連結会計年度比2,397,132千円減)となりました。主な内訳は、未払金855,913千円、未払法人税等702,943千円であります。また、固定負債は422,533千円(前連結会計年度比264,773千円減)となりました。主な内訳は、資産除去債務189,175千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は14,262,542千円(前連結会計年度比9,494千円減)となりました。主な内訳は、資本金3,000,000千円、利益剰余金13,457,245千円、自己株式3,272,370千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、5,140,119千円(前連結会計年度比1,805,391千円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は3,304,026千円(前連結会計年度は5,390,093千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益5,773,864千円、法人税等の支払額1,949,859千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は707,415千円(前連結会計年度は1,542,192千円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出1,538,531千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は4,403,976千円(前連結会計年度は4,073,014千円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出2,609,362千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	72.1	72.3	83.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	337.1	360.3	454.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1.0	0.4	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	19,337.7	9,322.4	7,787.2

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の企業間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮した上で適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,945,511	5,140,119
受取手形、売掛金及び契約資産	2,949,592	2,636,087
有価証券	-	300,000
営業投資有価証券	3,797,562	-
その他	381,310	353,088
流動資産合計	14,073,977	8,429,295
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	375,270	522,090
土地	3,025	162,699
その他（純額）	196,724	143,716
有形固定資産合計	575,020	828,506
無形固定資産		
ソフトウェア	244,887	284,451
ソフトウェア仮勘定	75,024	4,985
その他	4,685	3,556
無形固定資産合計	324,597	292,993
投資その他の資産		
投資有価証券	3,024,643	5,974,134
繰延税金資産	756,416	463,417
その他	986,175	1,081,081
投資その他の資産合計	4,767,235	7,518,633
固定資産合計	5,666,852	8,640,133
資産合計	19,740,830	17,069,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	513,108	231,501
未払金	1,372,260	855,913
未払法人税等	1,238,732	702,943
賞与引当金	898,300	18,000
株式給付引当金	497,176	251,806
その他	261,906	324,187
流動負債合計	4,781,485	2,384,352
固定負債		
リース債務	16,262	10,503
株式給付引当金	329,981	49,789
役員株式給付引当金	75,789	100,850
資産除去債務	187,132	189,175
その他	78,140	72,215
固定負債合計	687,307	422,533
負債合計	5,468,792	2,806,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	2,516,524	1,250,000
利益剰余金	12,486,582	13,457,245
自己株式	△3,763,801	△3,272,370
株主資本合計	14,239,304	14,434,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,732	△172,332
その他の包括利益累計額合計	32,732	△172,332
純資産合計	14,272,037	14,262,542
負債純資産合計	19,740,830	17,069,429

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	26,293,590	23,831,005
売上原価	14,561,835	12,047,655
売上総利益	11,731,755	11,783,350
販売費及び一般管理費	6,092,836	5,718,435
営業利益	5,638,918	6,064,914
営業外収益		
受取利息	3,171	13,432
受取配当金	-	110,671
投資有価証券売却益	204,888	118,064
投資有価証券運用益	24,142	34,788
雑収入	23,739	31,882
営業外収益合計	255,942	308,840
営業外費用		
支払利息	578	424
自己株式取得費用	4,523	6,522
控除対象外消費税等	7,413	6,672
投資有価証券運用損	4,957	8,461
雑損失	486	232
営業外費用合計	17,957	22,313
経常利益	5,876,902	6,351,441
特別利益		
関係会社株式売却益	-	79,457
その他	935	10,030
特別利益合計	935	89,488
特別損失		
固定資産除却損	57,520	1,947
投資有価証券評価損	-	649,993
その他	770	15,124
特別損失合計	58,291	667,065
税金等調整前当期純利益	5,819,546	5,773,864
法人税、住民税及び事業税	1,707,300	1,478,644
法人税等調整額	△282,416	323,337
法人税等合計	1,424,883	1,801,981
当期純利益	4,394,662	3,971,882
親会社株主に帰属する当期純利益	4,394,662	3,971,882

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	4,394,662	3,971,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196,933	△205,065
その他の包括利益合計	△196,933	△205,065
包括利益	4,197,729	3,766,816
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,197,729	3,766,816

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000,000	3,151,600	9,283,020	△2,470,670	12,963,950
当期変動額					
剰余金の配当			△1,191,101		△1,191,101
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,394,662		4,394,662
自己株式の取得				△3,129,615	△3,129,615
自己株式の処分		61,262		1,140,144	1,201,407
自己株式の消却		△696,339		696,339	-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△635,077	3,203,561	△1,293,131	1,275,354
当期末残高	3,000,000	2,516,524	12,486,582	△3,763,801	14,239,304

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	229,666	229,666	13,193,616
当期変動額			
剰余金の配当			△1,191,101
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,394,662
自己株式の取得			△3,129,615
自己株式の処分			1,201,407
自己株式の消却			-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△196,933	△196,933	△196,933
当期変動額合計	△196,933	△196,933	1,078,421
当期末残高	32,732	32,732	14,272,037

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,000,000	2,516,524	12,486,582	△3,763,801	14,239,304
当期変動額					
剰余金の配当			△1,788,958		△1,788,958
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,971,882		3,971,882
自己株式の取得				△2,627,933	△2,627,933
自己株式の処分		104,739		562,846	667,585
自己株式の消却		△2,556,519		2,556,519	-
利益剰余金から資本剰 余金への振替		1,185,255	△1,185,255		-
連結除外に伴う利益剰 余金減少			△27,005		△27,005
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△1,266,524	970,663	491,431	195,570
当期末残高	3,000,000	1,250,000	13,457,245	△3,272,370	14,434,875

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	32,732	32,732	14,272,037
当期変動額			
剰余金の配当			△1,788,958
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,971,882
自己株式の取得			△2,627,933
自己株式の処分			667,585
自己株式の消却			-
利益剰余金から資本剰 余金への振替			-
連結除外に伴う利益剰 余金減少			△27,005
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△205,065	△205,065	△205,065
当期変動額合計	△205,065	△205,065	△9,495
当期末残高	△172,332	△172,332	14,262,542

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,819,546	5,773,864
減価償却費	243,989	250,854
賞与引当金の増減額 (△は減少)	841,131	△880,300
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	426,465	△57,386
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	31,154	25,060
受取利息及び受取配当金	△3,171	△124,104
支払利息	578	424
為替差損益 (△は益)	481	△1,973
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	649,993
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△79,457
固定資産除却損	57,520	△1,947
投資有価証券売却損益 (△は益)	△204,888	△118,064
投資有価証券運用損益 (△は益)	4,957	△26,327
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△186,970	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,028	219,126
前払費用の増減額 (△は増加)	23,840	97,523
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,086	△216,289
未払金の増減額 (△は減少)	△421,159	△497,379
その他	16,965	113,771
小計	6,467,325	5,127,387
利息及び配当金の受取額	3,171	124,104
利息の支払額	△578	△424
法人税等の支払額	△1,497,038	△1,949,859
法人税等の還付額	417,213	2,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,390,093	3,304,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△358,587	△385,918
有形固定資産の売却による収入	15,067	-
無形固定資産の取得による支出	△85,485	△88,616
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	63,338
投資有価証券の取得による支出	△2,356,620	△1,538,531
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,274,663	1,291,872
その他の支出	△74,300	△104,932
その他の収入	43,069	55,373
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,542,192	△707,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,776	△5,645
自己株式の取得による支出	△2,875,015	△2,609,362
配当金の支払額	△1,190,221	△1,788,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,073,014	△4,403,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△481	1,973
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△225,594	△1,805,391
現金及び現金同等物の期首残高	7,171,106	6,945,511
現金及び現金同等物の期末残高	6,945,511	5,140,119

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計期間において、連結子会社であった株式会社シグマクス・インベストメントは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

「II 当連結会計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは「コンサルティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「コンサルティング事業」及び「投資事業」の2つの報告セグメントに区分しておりましたが、「投資事業」については2025年5月に事業を停止し、株式会社シグマクス・インベストメントは2025年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したことを踏まえ、当社グループの事業展開、経営資源配分等の意思決定プロセスの実態の観点から、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「コンサルティング事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更により、前連結会計期間及び当連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社NYK Business Systems	3,544,172

(注) 当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が、連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦における有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	170.50円	174.83円
1株当たり当期純利益金額	51.93円	47.67円

- (注) 1. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び期中平均株式数を算定しております。
2. 株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,482,520株、当連結会計年度989,220株)。
また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度1,873,031株、当連結会計年度1,027,933株)。
3. 「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「1株当たり当期純利益金額」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	4,394,662	3,971,882
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	4,394,662	3,971,882
普通株式の期中平均株式数(株)	84,625,018	83,321,464

(追加情報)

(停止した投資事業に関する投資有価証券、収益及び費用の計上区分)

当社グループの成長戦略に基づき、足元のグロース市場の環境もふまえ、2025年5月に投資事業を停止し、株式会社シグマクス・インベストメントは2025年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅いたしました。

この結果、連結貸借対照表の当連結会計期間において、これまで流動資産に計上していた「営業投資有価証券」を固定資産の「投資有価証券」に計上しております。

また、連結損益計算書において、2025年5月8日以降、当該投資有価証券に係る損益を、「売上高」及び「売上原価」から「営業外損益」または「特別損益」に計上する方法に変更しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。